

E Z - W I N競馬予想新聞				24.3.23 (土) 阪神11R G3毎日杯 芝1800m外A 3歳馬齢 15:35														指数					
間隔	総合評価点数	予想印	馬番	馬名	性別	負担重量	予想人気	相対指数	3歳戦血統	最終調教評価	馬喰調教評価	脚質前走	脚質2前	脚質3前	血統・人気複率	血統複勝回収値	前距離複率	騎手	調教師	前走不利	好走傾向致	マイニング	対戦型
11	42		1	栗)ノーブルロジャー	牡3	57	1	A		D	A	11,3	2,1		0	0	54	川田将	吉岡辰			2	1
15	34	▲	2	栗)ルシフェル	牝3	55	5	B	注		A	14,4	5,1	8,1	9	83	4	ムルザ	斉藤崇			5	5
6	47	★	3	栗)ベラジオボンド	牡3	57	3	B			B	6,4	4,1		24	73	21	岩田望	上村洋		AA	6	3
5	28		4	栗)メイショウタバル	牡3	57	7	B		B		1,4	7,1	5,4	9	83	11	坂井瑠	石橋守			3	4
8	14		5	美)トラジェクトワール	牡3	57	10		★			5,6	11,1	11,1	13	78	11	西村淳	尾関知			9	8
3	32		6	栗)ナイトスラッガー	牡3	57	9					6,2	11,14	5,1	8	82	11	池添謙	小栗実		A	10	9
7	37	◎	7	栗)ファーヴェント	牡3	57	6	C		C+	A	6,4	4,5	4,1	9	83	11	松山弘	藤原英		注	4	2
8	30		8	栗)スマートワイス	牡3	57	8			C+	A	3,2	6,5		7	82	11	武豊	大久保			7	10
6	52	○	9	栗)サトノシュトラーク	牡3	57	4	A	★			3,5	4,6	2,1	26	115	22	藤岡康	友道康			1	6
12	50		10	美)ニュージーズ	牡3	57	2	B				5,1			44	74	55	ルメー	木村哲		B	8	7

【レースの傾向】

毎日杯は「前走G3共同通信杯」からの臨戦に注目です。

↓↓↓

【5・0・1・2/8】

勝率62.5% 単回率477%

複率75.0% 複回率167%

※該当馬は3番ベラジオボンド

過去10年の3着以内馬30頭の内

父:大系統サンデー系が19頭

父:ロベルト系が4頭

父:大系統ミスプロ系が5頭

基本的には父がサンデー系を中心に。

ただし、回収期待値の面ではロベルト系が一番。

(単回率205% 複回率198%)

また、雨馬場開催となった22年と20年の2回では、

前走の上り3Fタイム順位1位だった馬が5頭馬券に絡んでおりました。

今年のメンバーで該当するのは、

10番ニュージーズのみですが、前走の直線で

大きな不利を受けてブレーキをかけた馬にも

注目したいと考えております。

【予想見解】

◎7番ファーヴェント

父:ハーツクライ(Tサンデー系)

母父:米ミスプロ系

前走は馬場の内側が壊滅的で、全馬が内を避けていた状況の中、直線に入って、伸びない内に突っ込む川田殿らしくないコース取り。

その上、勝負所で不利を受け鞍上が立ち上がる程の急ブレーキ。それでもメンバー4位の末脚は使っていました。

本馬はデビュー戦で松山騎手の評価がかなり高かった馬。

東スポ杯では、まだ緩さが残っている
良化途上の状態ながらも好走してありました。

今回は1段階完成度が上がっております。
前走だけでは決して見限れないポテンシャルを持っていそう。

○9番サトノシュトラセ

父:ジャスタウェイ(Pサンデー系)

母父:シャンゼリゼ(欧デインヒル系)

祖母父:ロミタス(独ニジンスキー系)

母は独オークス3着馬。

ドイツ牝系と父ジャスタウェイの配合馬には、皐月2着のヴェロックス。

また、ジャスタウェイの3歳牝馬は
当コース3歳戦に9頭が出走して5頭が馬券絡み。

未勝利勝ちのパフォーマンスから考えますと、
平坦内回りコースが合っているのかも知れませんが、
ドイツ牝系なので外回りコースへの適性も十分に見込めます。

高速馬場への適性には若干の疑問は残りますが、
予報通りに雨が降るなら好走確率は上がるでしょう。

▲2番ルシフェル
父:ハーツクライ(Tサンデー系)
母父:米ダンチヒ系

ハーツクライの3歳牝馬の当コース成績は
5・3・4・14/26
勝率19.2% 単回率16.4%
複率46.2% 複回率27.5%

これが雨馬場になると・・・
3・1・1・3/8

勝率37.5% 複率62.5%に上昇します。

前走の敗戦は、それまでの3戦全てで経験した
スローペースから一転して持続ラップになった為、
脚を溜められず末脚が不発に終わった事が原因。
(これはハーツクライ産駒によくある負けパターン)

今回は、前走で速い流れを経験した事がプラスに働きそう。

★3番ベラジオボンド

父:ロードカナロア(キングマンボ系)

母父:ドバイデスティネーション(キングマンボ系)

キングマンボの3×3クロスを保持

父も母父もマイルG1馬で、キングマンボも英仏の
マイルG1を3勝しているマイラー色が強い血統構成ですが、
母はイタリアオックス(2200m)2着馬なので、
同じ非根幹距離の1800mに適性があるかも知れません。

前走が共同通信杯は当レースの最強ローテ

(勝率62.5%/単回477% 複率75%/複回167%)

その前走は前有利馬場での超スローペース。
物理的に届かない位置からの競馬でしたので参考外。

血統的に、スローからの瞬発力勝負よりも
持続力や持久力が活きるような馬場や展開に向いていそうで、
近年の毎日杯らしい持続ラップなるようなら。

【馬券】

EZ-WIN 推奨馬券

単勝9番

馬連・3連複3頭ボックス

3番・9番・10番

くまもん馬券

馬連・ワイド 7-2・3・9

3連複フォーメーション21点

7-2・3・9-総流し